

簡易公開調達説明書

「平成 年度

業務委託」

平成 年度 業務委託については、別途の簡易公開調達公告のとおり、「簡易公開調達」により公益社団法人和歌山県観光連盟が調達する。

当該「簡易公開調達」については、公益社団法人和歌山県観光連盟役務の提供等の契約に係る簡易公開調達実施要領（平成21年制定。以下「要領」という。）に定めるもののほか、この簡易公開調達説明書によるものとする。

簡易公開調達に参加する者は、下記に掲げる事項を熟知の上、所定の見積書に見積もりする事項を記入し、その見積書を提出しなければならない。

なお、見積書提出後、仕様等について不知又は不明を理由として異議を申し立てることはできない。

1 簡易公開調達公告年月日
平成 年 月 日

2 簡易公開調達に付する事項

(1) 事業年度

平成 年度

(2) 調達業務の名称

平成 年度

業務委託

(3) 調達業務の内容

公益社団法人和歌山県観光連盟についての
仕様書のとおり

業務を実施する。

(4) 契約期間

平成 年 月 日から平成 年 月 日まで

3 簡易公開調達に参加する者に必要な資格に関する事項

次に掲げるすべての要件を満たしていること。

(1) 自治法令第167条の4第1項の規定に該当しない者であること。

(2) 公益社団法人和歌山県観光連盟（以下「県観光連盟」という。）役務の提供等の契約に係る入札参加資格に関する要綱（平成21年制定。以下「要綱」という。）に基づき競争入札参加資格者名簿に登載されている者又は同要綱附則第2項の規定により入札参加資格を有するとみなされた者であり、その競争入札参加資格者名簿の業務種目が「大分類『 』の小分類『 』」であること。

(3) 和歌山県内に本店を有する者であること。

〈準県内者を含める場合〉

(3) 和歌山県内に本店を有する者又は県内に支店等を有し、かつ、その長を代理人として選任している者であること

※ 県外業者まで含める場合は、この号は不要です。

- (4) 県観光連盟役務の提供等の契約に係る入札参加資格停止要領（平成21年制定）に規定する入札参加の停止の措置を受けている者でないこと。
- (5) 和歌山県が行う調達契約等からの暴力団排除に関する事務取扱要領（平成20年制定）に規定する排除措置を受けている者でないこと。
- (6) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき、更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき、再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。

※(7)(8)等は、必要に応じて設定

- (7) ○○○○○の営業について○○○○○の免許を有している者であること。
- (8) ○○○○○について、△△△業務の●年以上の実務経験を有し、その業務を適切に実施できる知識及び能力を有する者を常勤として●人以上雇用していること。

4 仕様書及び簡易公開調達説明書を交付する場所及び期間

(1) 場所

県観光連盟

和歌山市小松原通一丁目1番地

（和歌山県商工観光労働部観光局観光振興課内）

(2) 期間

平成 年 月 日（ ）から平成 年 月 日（ ）までの土・日曜日（以下「休日」という。）を除く日の午前9時00分から午後5時30分まで

(3) 質問の期間

仕様書及び簡易公開調達説明書について質問がある者は、平成 年 月 日（ ）から平成 年 月 日（ ）までの間において、公益社団法人和歌山県観光連盟に対して、所定の書面（ファクシミリを含む。）により行うこと。

ア 所定の書面の様式は、仕様書等に対する質問申出書（様式1：要領別記第1号様式）とする。

イ 質問に対しては、原則として平成 年 月 日（ ）までに書面（ファクシミリを含む。）により回答し、県観光連盟ホームページへの掲載の方法及び県観光連盟での備付けの方法により公表するものとする。ただし、その内容が軽微なものにあつては、担当者の口頭による回答のみとすることができる。

5 簡易公開調達の見積書等の提出の場所及び期間（提出期限）

(1) 場所

県観光連盟

和歌山市小松原通一丁目1番地

（和歌山県商工観光労働部観光局観光振興課内）

(2) 期間

平成 年 月 日（ ）から平成 年 月 日（ ）までの休日を除く日の午前9時00分から午後5時30分まで

郵送の場合にあつても、当該期間内（提出期限まで）に必着させること。

6 簡易公開調達の方法に関する事項

- (1) 簡易公開調達の見積もりは、所定の見積書に見積もりする事項を記入し、その見積書を提出して行うこと。

ア 所定の見積書の様式は、見積書（様式2）とする。

イ 見積金額は、調達業務を完了するための価格の総額とする。

また、見積金額は、調達業務に係る一切の諸経費を含めた額とする。

ウ 見積書には、調達業務の名称その他の必要事項を明記した上、見積者（見積書を提出するものをいう。以下同じ。）氏名（商号（屋号）を含む。法人にあっては、その名称及び代表者の氏名をいう。）を記入して押印（外国人の署名を含む。以下同じ。）しておかなければならない。

エ 見積者は、見積者の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分について押印しておかなければならない。ただし、見積者の見積金額は、訂正することができない。

オ 見積書を提出した後は、見積者の書き換え、引換え又は撤回をすることができない。

(2) 落札決定に当たっては、見積書に記載された金額に当該金額の100分の5に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札価格とするので、見積者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の105分の100に相当する金額を見積書に記載すること。

(3) 見積書は、封筒に入れ密封し、かつ、その封筒の封皮には見積者の氏名調達の名称を表示すること。

(4) 郵送により見積書を提出する場合には、封筒（封皮に見積者の氏名及び調達業務の名称を表示したもの）に密封した見積書を平成 年 月 日（ ）午後5時00分までに、県観光連盟へ必着させること。

(5) 簡易公開調達及びその執行については、次に掲げる事項に則り行うものとする。

ア 簡易公開調達事務（開札（封筒を開封し、見積書を確認することをいう。以下同じ。）の事務を含む。）は、複数の職員により行うものとする。

イ 提出期限後の見積書の提出は認めない。

ウ 見積書の開札は、見積書の提出期限後直ちに、簡易公開調達事務を担当する複数の職員が行い、開札の結果（落札者の決定を含む。）については、簡易公開調達見積結果表を作成して整理するものとする。

エ 天災地変その他やむを得ない事由が生じたときは、簡易公開調達を延期（中断を含む。）し、又は取りやめることができる。見積者が談合し、又は不穏な挙動をする等の場合で簡易公開調達を公正に執行できない状況にあると認めたとときも、同様とする。

オ その他簡易公開調達の執行については、要領及びこの簡易公開調達説明書に基づき、県観光連盟事務局長が決定する。

7 簡易公開調達の無効に関する事項

簡易公開調達公告に示した簡易公開調達に参加する者に必要な資格のない者がした見積もり及びこの簡易公開調達説明書に記載する無効な見積もりに該当する見積もりは、無効とする。

なお、県観光連盟及び和歌山県から役務の提供等の契約に係る競争入札参加資格決定通知書を受けた者であっても、決定後入札参加資格停止の措置を受けて入札参加資格の停止の期間中である者等見積書の提出期限の日の時点で3に掲げる要件を満たしていない者のした見積もりは、無効とする。

次に掲げる見積書は無効とする。

- (1) 簡易公開調達の参加資格のない者がした見積もり
- (2) 所定の提出期限までに提出されなかった見積もり
- (3) 同一事項の簡易公開調達について、見積者が2以上見積もりをした場合のそのいずれもの見積もり
- (4) 明らかに談合その他の不正な行為によってされたと認められる見積もり

- (5) 記名押印を欠いた見積書による見積もり
- (6) 見積金額を訂正した見積書による見積もり
- (7) 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭な見積書による見積もり
- (8) その他簡易公開調達に関する条件に違反した見積もり

8 落札者の決定に関する事項

- (1) 簡易公開調達の要件、執行方法等の細目については、要領及びこの簡易公開調達説明書のとおりとする。

天災地変その他やむを得ない事由が生じたときは、簡易公開調達を延期し、又は取りやめることがある。

見積者が談合し、又は不穏な挙動をする等の場合で簡易公開調達を公正に執行できない状況にあると認めるときは、簡易公開調達を延期し、又はこれを廃止することがある。

- (2) この簡易公開調達の開札は、県観光連盟の複数の職員により行うものとする。
- (3) 予定価格の範囲内で、最低の価格をもって有効な見積もりを行った者を落札者とする。
- (4) 落札者となるべき同価の見積もりをした者が2人以上あるときは、直ちに当該見積者に代わって当該簡易公開調達事務に関係のない県観光連盟の職員にくじを引かせるものとする。
- (5) 落札者の決定後、契約の締結の日までの間において、落札者が3に掲げるいずれかの要件を満たさなくなったときは、契約を締結しないものとする。この場合において県観光連盟は落札者に対して損害賠償責任その他の何らの責任を負わないものとする。

9 契約書の要否

否

※ 必要に応じて「要」を設定

10 その他

この簡易公開調達及びそれに基づく発注（契約）に関する事務を担当するところの名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1) 名称

公益社団法人和歌山県観光連盟

- (2) 所在地

和歌山市小松原通一丁目1番地

和歌山県商工観光労働部観光局観光振興課内

郵便番号 640-8585

電話番号 073-422-4631

ファクシミリ番号 073-432-8313

仕様書等に関する質問申出書

平成 年 月 日

公益社団法人和歌山県観光連盟 様

事業年度	平成 年度	公告年月日	平成 年 月 日
業務の名称			
質問者	住 所		
	氏 名 <small>法人にあつてはその 名称及び代表者氏名</small>		
	担当者の所属 及び職氏名		
	電話番号		
	FAX番号		
質問事項	<p>1 仕様書について</p> <p>2 簡易公開調達説明書について</p>		

様式2 (第6項関係)

見 積 書

見積金額	百	十	万	千	百	十	円

ただし、平成 年度 業務委託にかかる見積金
上記のとおり見積もります。

平成 年 月 日

住 所

法人にあつては
主たる事務所の
所在地

氏 名

法人にあつては
その名称及び代表
者の氏名

印

公益社団法人和歌山県観光連盟会長 様

- 注) 1 見積書を提出する者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかに問わず、見積もった契約金額の105分の100に相当する金額を見積書に記入すること。
2 記入する金額の数字はアラビア数字で表示し、数字の先頭には「金」を記入すること。
3 金額を訂正したものは、無効とする。
4 金額箇所以外の訂正又は抹消箇所には押印すること。